

ConMas i-Reporter

DocuWorks出力機能 DocuShare連携機能

2015-04-01 初版を発行

2015-07-03 V5.0

2015-08-03 V5.0機能強化版その2

株式会社シムトップス

改訂履歴

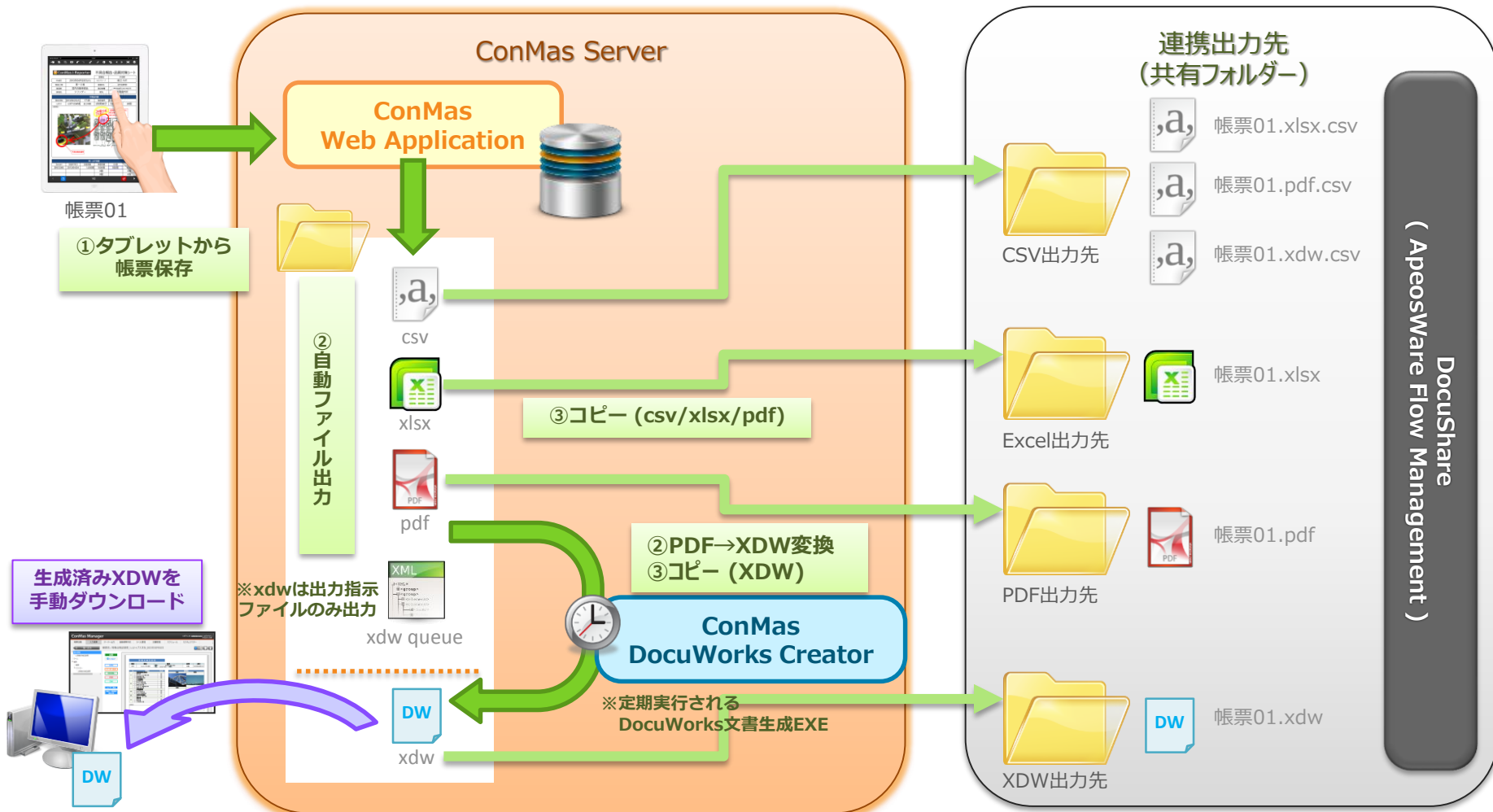
日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2015-04-01	V4.4	--	初版を発行しました。
2015-07-03	V5.0	p.14	ファイル出力フォルダーに使用できる置換文字列を追記しました。
2015-08-03	V5.0機能強化版その2	p.14	ファイル出力フォルダーに使用できる置換文字列を追加しました。 {date}, {dateTime},{time},{publicStatus}

目次

• DocuWorks/DocuShare連携概要	4
• DocuWorks出力（フォルダー構成）	5
• DocuWorks出力（ConMas Manager）	6
• DocuWorks出力（DocuWorks文書生成プログラム）	7
• DocuWorks出力（手動実行と確認）	8
• DocuWorks出力（ConMas Manager 手動ダウンロード）	9
• DocuWorks出力（自動実行）	10
• DocuShare連携（システム設定）	11
• DocuShare連携（連携設定画面の表示）	12
• DocuShare連携（連携設定）	13

DocuWorks文書生成・DocuShare(ApeosWare Flow Management)連携概要

- 自動ファイル出力で出力されたPDFファイルをDocuWorks文書ファイルに変換し、自動で出力します。
- DocuWorks文書の生成は専用プログラムによりバックグラウンド（非同期）で生成されます。
（※本機能の利用には「DocuWorks 8」のインストールが必要です）
- DocuShare連携設定をすることにより連携に必要なCSVファイル出力、連携出力先の共有フォルダーへのファイルコピーを行い、ApeosWare Flow Managementを介してDocuShareに連携することが可能です。



DocuWorks出力（フォルダー構成）

- [ドライブ]:¥ConMas¥SettingFiles¥xml¥ 配下は以下の構成となっています。




ConMas		
SettingFiles		
xml		
interface	・・・interface	基本フォルダー
report	・・・report	基本フォルダー
DW	・・・DW	基本フォルダー
ConMasCreateDW	・・・ConMasCreateDW	プログラムフォルダー
error	・・・error	予期せぬエラーが発生したキューの格納場所
failure	・・・failure	生成、転送に指定回数失敗したキューの格納場所
log	・・・log	ログファイル格納場所
pool	・・・pool	DocuWorks文書生成キュー格納場所
report	・・・report	DocuWorks文書出力先ファイル格納場所
success	・・・success	生成・転送に成功したキューの格納場所

※上記フォルダは必ず必要です。

※ConMas i-ReporterのDocuWorks出力機能が稼働しているサーバーには
DocuWorksプリンタを使用する他のアプリケーション/システムやWindowsの通常使うプリンタを使用して
印刷を行うアプリケーション/システムを設置しないでください。
アプリケーション/システム間の競合によって、DocuWorks出力機能、および、
他のアプリケーション/システムが誤動作を起こす恐れがあります。

DocuWorks出力（DocuWorks文書生成プログラム）

- プログラムは以下のフォルダーに格納されています。
[ドライブ]:¥ConMas¥SettingFiles¥xml¥interface¥report¥DW¥ConMasCreateDW
※文書プログラムは多重実行せず、指示された変換を順番に漏れなく実行します。
- 「ConMasCreateDW.exe.config」を環境に合わせて設定します。

 ConMasCreateDW.exe	・・・DocuWorks文書生成プログラム
 ConMasCreateDW.exe.config	・・・DocuWorks文書生成プログラム設定ファイル
 xdwapiwn.dll	・・・DocuWorks文書生成DLL

DocuWorks生成プログラム設定ファイル（ConMasCreateDW.exe.config）

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<configuration>
  <appSettings>
    <!-- **** パス **** -->
    <add key="ClientSettings" value="C:¥ConMas¥SettingFiles¥xml¥interface¥report¥DW¥" />
    <!-- **** 失敗回数 **** -->
    <add key="MaxFailures" value="3" />
    <add key="CreationTimeout" value="60" />
  </appSettings>
</configuration>
```

- ClientSettings
:配置したinterfaceフォルダ内の¥report¥DWフォルダを指定します。
- MaxFailures
:リトライ回数です。指定回数失敗するとpoolからfailureに移動します。(既定値は3回です)
- CreationTimeout
:生成が完了するまでの監視タイムリミット(秒)です。(既定値は60秒です)

※リトライ回数、タイムアウト値はネットワーク環境、変換対象のファイルサイズに合わせて必要に応じた調整を行ってください。

DocuWorks出力（手動実行と確認）

- 設定が完了したら、まずは手動でプログラムを実行し、正しくXDWファイルが作成されることを確認します



帳票を保存し、自動出力ファイル機能により、変換対象のPDFファイルが自動出力されていることを確認します。

同時に、poolフォルダにxdw変換指示ファイルが作成されていることを確認します。

ConMasCreateDWフォルダ内のConMasCreateDW.exeを実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
287_20150302161125_5fae9d99-dce...	2015/03/02 16:11	ファイル	1 KB
289_20150302171919_7f22c1d8-e0d...	2015/03/02 17:19	ファイル	1 KB
298_20150309075802_0d3d4d49-84d...	2015/03/09 7:58	ファイル	1 KB

interface
report
DW
error
failure
log
pool
report
success

XML
xdw queue

処理が成功するとxdwファイルが生成され、xdw変換指示ファイルはsuccessフォルダに移動します。

※xdwファイルはPDFと同一フォルダ、同一ファイル名で生成されます

※失敗した場合、リトライ回数に達するまで指示ファイルはpoolフォルダに残り、次回実行時に再度変換処理の対象となります。

※失敗がリトライ回数に達するとfailureフォルダに移動します。
失敗原因が解消（タイムアウト値の延長など）し、再度変換処理の対象にしたい場合は、failureフォルダからpoolフォルダに手動でファイルを移動することで再度変換処理の対象にすることが可能です。



名前	更新日時	種類	サイズ
298_20150309075802_0d3d4d49-84d...	2015/03/09 7:58	ファイル	1 KB
287_20150302161125_5fae9d99-dce...	2015/03/02 16:11	ファイル	1 KB
289_20150302171919_7f22c1d8-e0d...	2015/03/02 17:19	ファイル	1 KB

interface
report
DW
error
failure
log
pool
report
success

pdf
xdw

DocuWorks出力（手動ダウンロード）

- DocuWorks文書出力済みの帳票については
ConMasManagerよりDocuWorks文書を手動でダウンロード可能です。

ConMas Manager ログイン中: Administrator [ログアウト] Version: 4.3.5288

帳票名: 現場点検記録表_シムトップス本社_2015年03月01日

公開
入力完了
CSV
データ出力
EXCEL
PDF
DW
レイヤー表示
初期入力値変更表示ON

現場点検記録表

現場ID	現場名	住所	連絡先	点検者	点検日
A0001	シムトップス本社	TEL: 03-5721-4810 FAX: []	東京都目黒区中目黒	松尾	2015年03月01日

No. 点検項目 チェック 状況1 現場状況 状況2

I 1 創設要領遵守(機械室) 機器点検

II

III

IV 1 昇降機内潤滑油確認

V 1 駆動状態 2 加速状態 3 一定速走行状態

[MEMO]

ダウンロード可能なDocuWorks文書が存在する場合、ダウンロードボタンが表示されます。
クリックすることでDocuWorks文書をダウンロードすることが可能です。

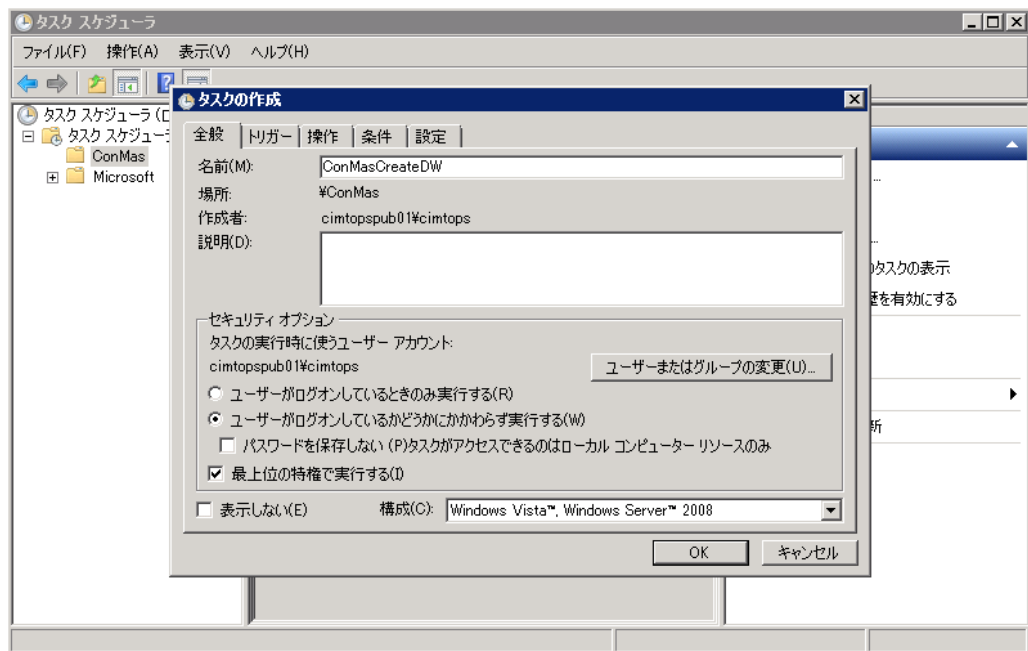
※ダウンロード

※上記画面表示時に対象のxdwファイルが未生成の時はDWダウンロードボタンが表示されません。

※また、何らかの理由で対象のxdwファイルがサーバーから削除された場合はダウンロードできません。

DocuWorks出力（自動実行）

- WindowsタスクスケジューラーにConMasCreateDW.exeの定期実行を登録することで定期的にDocuWorks文書を自動生成することが可能です。

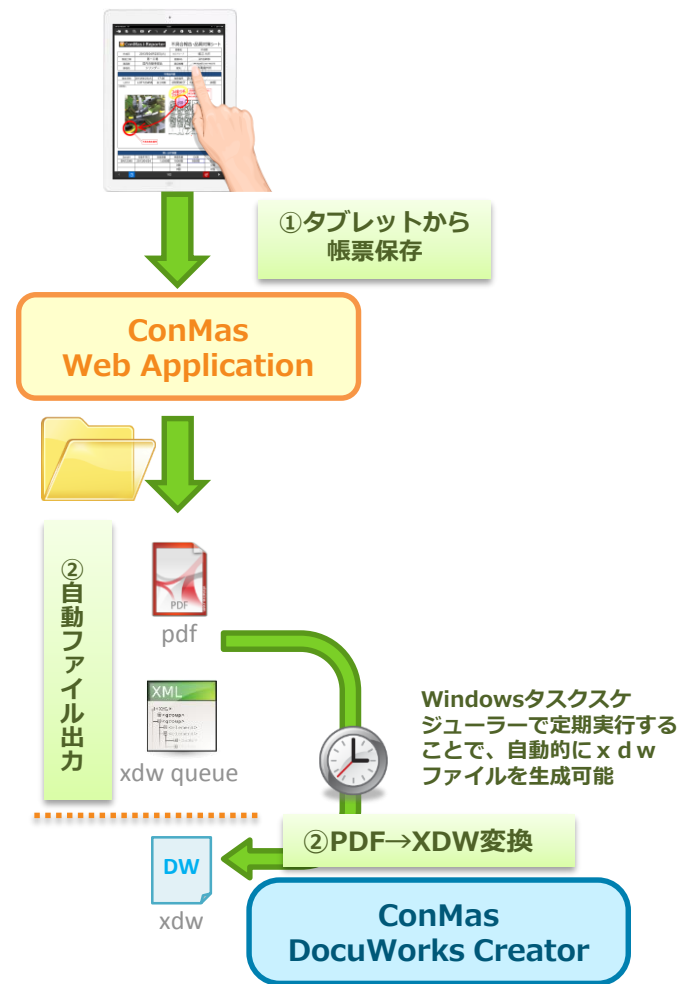


※より短い間隔で定期実行するとリアルタイムに近い間隔で変換が実行されます。
※プログラムは多重起動せず、
起動際にpoolフォルダに存在したxdw変換指示ファイルを全て処理します。

※Windowsタスクスケジューラーの基本的な設定方法は以下をご参照ください。

[タスク スケジューラーを起動する]
<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc721931.aspx>

[タスク スケジューラーの操作方法]
<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc766428.aspx>



DocuShare連携（連携設定画面の表示）

- DocuShareへの連携設定は「ConMasManager」-「データ出力」の「出力項目の選択」画面にて行います。

「データ出力」タブ選択後、対象の定義、帳票を選択する必要があります。
（※実際に出力する必要はありません）

ConMasManager ログイン中: matsuo [ログアウト] Version:4.2.4576

帳票管理 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター システム管理

帳票選択へ戻る 出力項目の選択 次へ

この定義の出力項目設定を保存する この定義の出力項目設定を保存する (自動出力用)

▼データ出力対象の帳票を表示する

▼クラスター詳細の出力設定

クラスターの詳細情報を出力する

▼DocuShare連携設定

▼基本情報

No	<input type="checkbox"/>	帳票ID	帳票名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	帳票ID	帳票名称
2	<input checked="" type="checkbox"/>	帳票ID	帳票名称

初期状態は設定ブロックが閉じていますのでクリックして設定ブロックを開きます。

帳票選択へ戻る 出力項目の選択 次へ

この定義の出力項目設定を保存する この定義の出力項目設定を保存する (自動出力用)

▼データ出力対象の帳票を表示する

▼クラスター詳細の出力設定

▼DocuShare連携設定

DocuShareに連携する

CSV出力フォルダー	\\Win-mjp61tgdie0awfm\{defoptname}\csv
PDF出力フォルダー	\\Win-mjp61tgdie0awfm\{defoptname}\pdf
EXCEL出力フォルダー	\\Win-mjp61tgdie0awfm\{defoptname}\excel
日付フォーマット	
共有フォルダー	\\Win-mjp61tgdie0awfm
共有フォルダー: ユーザー	matsuo
共有フォルダー: パスワード

▼基本情報

DocuShare連携（連携設定）

● 帳票の自動出力設定

必ず、共通マスター設定にて帳票保存時の自動出力設定がされている必要があります。

▼ DocuShare連携設定

次ページの置換文字列を使用できます。

DocuShareに連携する・・・DocuShare連携設定を有効にします。

CSV出力フォルダー	<input type="text" value="\\Win-mjp61tgdle0\lawfm\{defTopName}\csv\"/>	・・・DocuShare連携フォーマットCSV出力フォルダー
PDF出力フォルダー	<input type="text" value="Win-mjp61tgdle0\lawfm\{defTopName}\pdf\"/>	・・・DocuShare連携PDF出力フォルダー
EXCEL出力フォルダー	<input type="text" value="Win-mjp61tgdle0\lawfm\{defTopName}\excel\"/>	・・・DocuShare連携EXCEL出力フォルダー
DocuWorks出力フォルダー	<input type="text" value="Win-mjp61tgdle0\lawfm\{defTopName}\dw\"/>	・・・DocuShare連携DocuWorks出力フォルダー
日付フォーマット	<input type="text" value="yyyyMMdd\"/>	・・・CSV内日付フォーマット（.NET Framework仕様）
共有フォルダー	<input type="text" value="\\Win-mjp61tgdle0\lawfm\"/>	・・・ApeosWare Flow Managementサーバー共有フォルダーパス
共有フォルダー:ユーザー	<input type="text" value="Win-mjp61tgdle0\lawfm\"/>	・・・ApeosWare Flow Managementサーバー共有フォルダー接続ユーザーID
共有フォルダー:パスワード	<input type="text" value=".....\"/>	・・・ApeosWare Flow Managementサーバー共有フォルダー接続パスワード

【その他注意事項・説明等】

- 出力されるCSVファイル名は、「～.pdf.csv」「～xlsx.csv」「～xdw.csv」の様に「対象のファイル名.拡張子.csv」となります。
- 出力されるCSVファイルはヘッダ行が出力されません。
- 出力されるCSVファイルは入力データ内の改行は全て削除されます。
- 出力フォルダーには自動帳票ファイル出力設定と同様に「{XXXX}」による置き換え文字を利用することができます。
- 設定内容を保存するには「この定義の出力項目設定を保存する」「この定義の出力項目設定を保存する（自動出力）」の**両方**を押してください。
- フォルダ名には自動ファイル出力機能と同様に変数による指定が可能です。

出力項目の選択

・・・2つのボタンを両方押してください。

※共有フォルダー関連の設定は省略することでローカルフォルダーへのファイルコピーに利用することも可能です。

※ネットワーク障害等により共有フォルダーに接続できなかった場合はi-Reporterアプリからの帳票保存時にエラーが発生します。

DocuShare連携（連携設定 – 置換文字列について）

●ファイル出力フォルダーに使用できる置換文字列

ファイル出力フォルダーには、置換文字列が使用出来ます。

置換文字列を使用する事により、動的な出力フォルダーを作成する事が可能になります。

置換文字列は、以下を用意しています。

置換文字列	置換される値
{date}	入力完了時の日付yyyyMMdd形式
{dateTime}	入力完了時の日時yyyyMMddHHmmss形式
{time}	入力完了時の時刻HHmmss形式
{derTopId}	入力完了した入力帳票の帳票定義 I D
{defTopName}	入力完了した入力帳票の帳票定義名称
{repTopId}	入力完了した入力帳票の I D
{repTopName}	入力完了した入力帳票名称
{defTopName}	入力完了した入力帳票の帳票定義名称
{remarksValue1}	入力完了した入力帳票の備考 1
.....	入力完了した入力帳票の備考 2 ~ 9
{remarksValue10}	入力完了した入力帳票の備考 1 0
{publicStatus}	入力完了した入力帳票の公開ステータス

設定例)

- 帳票定義毎に出力する。
¥¥Win-mjp61tgdle0¥awfm¥{defTopName}¥
- 入力帳票毎に出力する。
¥¥Win-mjp61tgdle0¥awfm ¥{repTopName}¥

V5.0

ファイル出力フォルダーに使用できる置換文字列を追加しました。
{date}, {dateTime}, {time}, {publicStatus}